



みんなで子育て

西濃県務所 振興防災課 振興防災係
家庭教育推進専門職 酒井
電話:0584-73-1111 <内線212>
E-mail: sakai-toshinori@pref.gifu.lg.jp

家庭教育についての
相談はこちらまで。
お待ちしております。



家庭教育応援通信
平成6年度バックナンバー

リーダー等研修会 会場開催

海津市 4/14 (月)

海津市は、PTAの在り方が変わり、これからどのように家庭教育学級を継続していくのか熱心に話し合われました。保護者の学びや親子のふれあいの機会をどのように作っていくか、今年度の取組が他地区でも参考になる「海津市方式」になることが期待できます。

大垣市と海津市は、市の家庭教育担当者の会と合同で行いました。

大垣市 4/22 (火)

大垣市は、参加していただいた方の学びになるように、毎年、講演会を行っています。今回は、岐阜大学板倉憲正准教授から「現代の子どもの特徴と関わり方」についてお話をいただきました。薬物依存や自傷行為を繰り返す子どもたちを例に、助けを求める、弱みを出せる関係性を作ることが大切であると伝えられました。



教育長さんからの
熱いエール

家庭教育学級の開催に
活用できるように

令和7年度
家庭教育学級
在宅取組シート



海津市市民生活部
文化・スポーツ課

令和7年度
家庭教育学級
講師・出前講座リスト



海津市市民生活部 文化・スポーツ課

あったかいきずないっぱいカード、歯磨き、ノーマディア、ハグ、読み聞かせなど、在宅取組で取り組む実践カード集です。

今年度の
出前講座
から、家庭
教育教
師、家庭
教職
の
ス
タ
ッフ
が
参
加
し
ま
し
た
。

〈交流会でのみなさんの声〉

- ・年に3回子育て交流サロンを行い、親さんどうしのつながりをつくりたい。
- ・昨年度好評だった家庭教育学級は続けたい。
- ・参加人数を多くするには、親と子のふれあいができる学級がいいのでは。
- ・参加案内が目に残るような工夫をしたい。
- ・子どもが楽しめるだけでなく、親も学んだり、親子で交流して親どうしのつながりをもてたりできるなど、親目線で考えたい。
- ・保育園だと行事を増やすと保護者の負担が大きい。
- ・地域の祭りなどと共同で出店やフリーマーケットなど親子で楽しめる機会を作っている。
- ・第3日曜の家庭の日の開催は少年団の休みも多いので参加しやすくなる。
- ・いかに負担なく、ためになるものを計画していくか考えていきたい。

令和7年度
大垣市家庭教育学級の手引書

心豊かな元気な子ども
笑顔あふれる明るい家庭
みんなではぐくむ地域の宝



大垣市教育委員会
社会教育スポーツ課

令和7年度
活用資料



令和6年度 各団・学校家庭教育学級外部講師一覧表
令和6年度 各団・学校家庭教育学級在宅取組一覧表
令和6年度 家庭教育支援事業関係講座(子育て講座)一覧表
マーズ・クレヨンプロジェクトワークショップの申込について

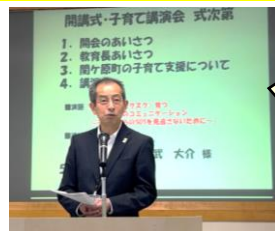
令和6年度家庭教育学級の外部講師一覧表、在宅取組の内容一覧表、子育て講座の内容一覧表を掲載していますので、園・学校が家庭教育学級を計画する際の参考になると思います。



関ヶ原町家庭教育学級合同開講式・子育て講演会
5/10（土）

関ケ原町では、令和8年度に、2つの保育園が1つとなる新しい認定こども園が新築され、その隣に幼児が遊べたり、保護者が子育ての相談や交流ができる施設が作られる予定です。今回行われた子育て講演会も、保・小・中の家庭教育学級の担当者と保護者、国保保健福祉総合施設を利用している乳幼児保護者を対象に合同で開催されています。こうした動きは、0歳から18歳までの切れ目のない家庭教育支援体制をさらに充実させていく方向性が感じられます。

教育長さんが岐阜県家庭教育支援条例の内容をお話されました。



毎月第3日曜日の「家庭の日」と毎月8のつく日に実施されている「早く家庭に帰る日」は、「家庭教育を实践する日」なんですよ。家族とのふれあいをするとうい日です。

〈傾聴とは〉

- ・ 子どもはいろいろなものを抱えています。抱えているもの（悩み・不安・課題・迷いなど）を受け取る、それが「傾聴」です。
- ・ 「話す」と、抱えているものを「放す」ことができます。抱えているものを「離す」ことでよく見ることができます。

〈承認とは〉

- 子どもは、自分の存在を認められているという安心感で育ちます。「承認」は、「いいところ＝認めているところ」を効果的に伝える方法です。
- 子どもたちは、保護者から

関心を持たれている・大切にされている・認められている・理解されている・愛されている
と実感した時、夢や目標に向かって走り出します。



「子どもが（スクスク）育つ魔法の
コミュニケーション～子どもから
のSOSを見逃さないために～」

百武 大介 様



「傾聴」と「承認」の大切さをペアによる演習で実感しました。

「未来を認めること」「子どもの性格に合わせて認めること」により、承認の言葉が効果的に伝わることを教えていただきました。

子育て・家庭教育学級等の三二情報

講師選定に困った時は、県の派遣事業が利用できないかご確認ください。

研修会・活動等への講師派遣は無料です！



令和7年度(2025年度)

県職員出前トーク

～地域・社会の課題を学ぶ機会～

県政の重要課題や生活に身近な話題などについて、
県の職員が皆さまのところへ伺い、お話しをします！



6つの分野から
テーマを選べます！

くらし・防災・環境	子ども・女性・高齢・福祉
産業・観光・労働・観光	社会基盤
教育・文化・スポーツ・青少年	県政情報

- 各分野ごとに様々なテーマをご用意しています。
(約2.30あるテーマ一覧表は、岐阜県庁ホームページでご覧いただけます。)
- テーマ一覧表に掲載のないテーマにつきましても、ご相談に応じます。
- 詳しくは、県広報課までお問い合わせください。

【対象】

地域の自治会、子ども会、企業、サークルの団体など、どんなグループでもご利用いただけます。

※資料利用や特定の主題を扱う講演を目的の会合などについてはご相談です。

※交通、食事等をご希望の場合は別途ご用意ください。

【期間・場所】

・1年中ご利用できます。
※希望の時期を指定していただく必要があります。
※必ずしもご希望の日にちがない場合もありますので、あらかじめご相談ください。
・1日の開催は、オプションによる実施も可能です。
・場所は皆さまでご用意ください。
※会場の確保については、主催側にご負担いただくようになります。






レクリエーション 指導者派遣事業のご案内



令和7年度 岐阜県主催

岐阜県では、県民が楽しみながら健康づくりに取り組み、元気なライフスタイルを築いていく事を、





レクリエーションを通じて
笑顔と健康づくりのため、指導者を派遣します！

「趣味・ふれあい」「スポーツ・健康」「心身の
ケア」の3つのコースがあります。ぜひご利用ください。

対象
県内

対象
施設

費用
無料

日程
令和7年4月1日（月）～令和8年3月31日（火）
※派遣回数に限りがありますので、あらかじめご了承ください。

内容
基本コース
レクリエーションを気軽に利用したい団体利用（年1回のみ）
オーダーメイドコース
継続的にレクリエーションに取り組みたい団体利用（複数回）
※詳細は中巻をご覧ください。

県内の幼稚園や保育園、認定こども園、学校、会社、
放課後児童クラブ、高齢者・障がい者施設、各種団体など

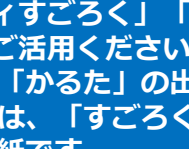
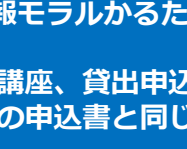


岐阜県 一般社団法人 岐阜県レクリエーション協会

ネット安全・安心ぎふコンソーシアム

楽しみながら学べる「情報セキュリティすごろく」「情報モラルかるた」
をご活用ください。

※「かるた」の出前講座、貸出申込書は、「すごろく」の申込書と同じ用紙です。

出前トークでは、各部分
野ごとに、様々なテーマ
(約220)を用意しています。
岐阜県庁のHPでご確認くだ
さい。「テーマ一覧表」に
ないトピックについても、
ご相談に応じます。



岐阜県レクリエーション協会の協力のもと、無料のレク指導者派遣とレク用具貸出を行っています。
「親子ふれあい活動」等でご利用いただけます。



「ケータイ安全・安心利用
研修会」「情報セキュリ
ティすごろく・情報モラル
かるた出前講座」「すご
ろく・かるた」の貸出申込書
がダウンロードできます。





家庭教育学級が始まりました。

大垣市立綾里小学校 家庭教育学級

手前味噌づくりワークショップ

令和7年5月18日(日) 10:40~12:30

綾里地区センター 希望保護者

家族に合ったオリジナル味噌

私たちの手には、常在菌があり、特に、子どもたちの手には元気な常在菌がいっぱいあるそうです。その常在菌の働きで、自分たちの腸にあったお味噌になるそうです。材料は、大豆ペースト、米麹、天然塩の3つだけ、無添加で安心・安全、しかも、減塩でしこむので、大豆の甘味が引き立ちます。

家庭教育学級長さんのお宅では、手作り味噌を使っており、子どもたちは、この味噌じゃないと食べないほど、大好きだそうです。発酵食のよさが見直されている機会に、保護者にも子どもたちにも味噌ができる過程を体験してほしいと、このワークショップを企画しました。

「一歩前進」

- 外部から検索されず、参加している個人の情報が守られる公開チャットを利用して、全保護者に案内文を送付し、リンク先の入力フォームから申し込みができるようにしました。印刷や集計の負担が軽減しました。
- 先生の作ったお味噌汁の試飲をする際、「お味噌汁だけでは物足りないよね。」と話し合い、家庭からおにぎりを持ってくることにしました。各自の味噌づくりが終わった時間帯は、ちょうどお昼ごろになり、おなががすいた時のごはんとお味噌汁の取り合わせは好評でした。

地区センターを利用した「体験活動参加型」

- 学校近くの地区センターの調理室を無料で借りることができました。

持続可能な家庭教育学級

- 3年生は、国語科で「すがたをかえる大豆」という説明文を学習します。私たちは、畑の肉と言われるほど栄養のある大豆をどのように工夫して食べてきたのか、煮豆、きな粉、豆腐、納豆、味噌などを例に説明しています。味噌づくりは、大豆の変化を実体験できるよい機会となりました。



親子の会話



こねた材料を丸めるのは子ども達、専用の袋に隙間のないようにグーパンチで詰めていくのはお母さんの役目です。

お味噌ができあがるのを待つ間も、実際にお味噌を食べる時も、親子の楽しい会話が交わされることでしょう。完成するのは9月15日頃です。

参加者の感想

- パンは作ったことがあるけれど、味噌づくりはめったにないと思い、申し込みました。
- 市販のお味噌汁はからいと食べない子どももおいしいと言っていました。
- 大豆の甘味があって、おいしいです。出来上がりが楽しみです。

養老町立日吉小学校 家庭教育学級

心肺蘇生法・AED研修

令和7年5月22日(木) 15:10~16:10

日吉小学校体育館 希望保護者



学校職員・保護者・子どもの参加

保護者は、直接体育館に集合しました。家庭教育学級に参加する保護者のお子さんは、授業が終わったら、体育館に集まりました。学校の職員も一緒に参加しました。

養老消防署より2名来ていただき、胸骨圧迫とAEDの使い方を教えていただきました。メトロノームの音に合わせて胸を押すことがなかなか難しいです。心肺蘇生には、胸骨圧迫と人工呼吸がありますが、コロナ禍での感染リスクを考慮して、最近では胸骨圧迫とAEDが中心となっています。しかし、人工呼吸も必要なので、消防署の方からその方法を教えていただきました。

「一歩前進」

昨年度は保護者と子どもが一緒にグループでしたが、子どもたちの活動が中心となり、保護者が実際に行うことが少なくなっていました。今年は、職員と保護者のグループと子どもたちのグループに分けることで、グループの保護者全員が胸骨圧迫の練習をすることができました。



持続可能な家庭教育学級

◇学校の研修との連携した「体験活動参加型」◇

多くの学校では、児童生徒の安全を守るために、水泳の授業が行われる前に、心肺蘇生法やAEDの使用方を学ぶ研修を行っています。そうした職員研修と連携した家庭教育学級を開催することで、保護者も子どもも命を守る学びができます。

保護者の感想

- 実際に胸骨圧迫してみても、2分がすごく長く感じました。命をつなぐために、今日教えていただいたことを忘れずにしたいと思います。
- 何度もやっている救急法ですが、いざという時にパニックになって、頭が真っ白になりそうなので、1年に1度確認する機会があるのは、とてもありがたいなと思いました。
- コロナ前に受けた時と少し変わっていることもあり、とても勉強になりました。

子どもの感想

- むねをおすのがむずかしかったです。(1年生)
- 見ているときは簡単そうだったけど、実際にやってみると、強く押してもなかなか下がらず、難しかったです。(中学年)

「人が倒れていたら、自分が安全が確かめて、近寄って、声をかけて・・・」と、学んだことを順番に最後まで話してくれた子もいました。救急の手順をしっかり覚えていて、心強く感じました。

こんなことも
やります！
(年間計画より)



日吉小学校家庭教育学級では、花の種を配って家庭で育ててもらい、その写真や絵の展示会開催に合わせたおしゃべりサロン、給食見学・試食会、盲導犬の役割、防災食品試食、「話そう！語ろう！わが家の約束」運動などを予定しています。多彩な家庭教育学級で保護者の学び・つながり、親子のふれあいの場が増えるといいですね。

家庭教育
ちょっと
情報！



無料で家庭教育について学んでいただけます！
あなたの職場でもどうですか？

従業員エンゲージメントアップ！

【職場で研修を行った方の声】

- ・ 同じ悩みを抱える人どうしが集うことで共感・共有でき、安心して働くことにつながると思います。
- ・ 子育て中は何かと時間に追われ、こうした話を聞ける機会があったとしても行けないので、会社での実施は助かります。
- ・ なかなか機会がないので、ありがたい場だと思いました。
- ・ 定期的の実施することで、仕事のコミュニケーションにも活かせると思います。

企業内家庭教育研修

子どもたちの健やかな成長のために、企業・事業所で家庭教育についての研修会を実施をお願いします。

講師派遣します

研修を受ける側
学びたいけど、時間がないなあ…
「いつかどうしたらいいかな？」
「どうやって子どもと接すればいいかな？」

職場で研修
従業員のみなさんに家庭教育を学ぶ場をつくりませんか？
子育て中、これから親になる方、管理職の皆さんなどを対象に、ニーズに合わせた研修をコーディネート。

研修を受ける側
「仕事も家庭も充実しています!!」
男女共同参画
ワーク・ライフ・バランス

岐阜県 環境生活政策課

研修の様子

実施企業 ヨツバシ株式会社
テーマ 親子のふれあいを～コミュニケーション力アップ～
～参加者の声～

日頃の働き一つ一つが子どもに繋がっているということを実感できました。自分の性格や強みを発見することができました。

研修を受けて、自分のこれまでで経験が広がり、言葉を発するだけでなくコミュニケーションの大切さを改めて感じたことが印象的でした。家に帰って子どもと接する機会が増えそうです。

企業内家庭教育研修 開催Q&A

Q 開催までの手順は？
A 下記のような手順です。

1. 研修の依頼
2. 研修の開催
3. 研修の振り返り

Q いつ開催するの？
A 朝礼前、休憩時間、就業後など、ご都合に合わせます。

Q どれくらいの研修が必要？
A 30分～2時間までご要望に応じて実施します。

Q 費用は？
A 講師料は基本的に無料です。講師の交通費、会場費については、ご負担いただきます。

Q 会場は？
A 企業・事業所内で、会場をご提供ください。オンライン開催やオンデマンド配信による研修も可能です。

Q 内容は？
A 家庭教育に関わる幅広いテーマを設定することが可能です。
(例)・子育てのポイント(生活リズム・スケジュールなど)
・子どもの安全・虐待
・育児困難(ワンオペ育児) などなど

お問い合わせ先

地区	担当部署	電話番号	FAX番号	メールアドレス
岐阜	南濃県生活政策課	058-272-1111	058-278-2605	c11260@pref.gifu.lg.jp
西濃	西濃県南濃市生活政策課	0584-73-1111	0584-74-9428	c20502@pref.gifu.lg.jp
中濃	中濃県南濃市生活政策課	0575-33-4011	0575-35-1452	c20505@pref.gifu.lg.jp
可児	可児県南濃市生活政策課	0574-25-3111	0574-25-3934	c20504@pref.gifu.lg.jp
東濃	東濃県南濃市生活政策課	0573-26-1111	0573-25-7129	c20508@pref.gifu.lg.jp
瑞穂	瑞穂県南濃市生活政策課	0577-33-1111	0577-33-1085	c20509@pref.gifu.lg.jp

岐阜県は、各家庭が家庭教育に自主的に取り組むことのできる環境を整えるとともに、家庭教育を地域全体で応援する社会的基盤を醸成すること、子どもたちの健やかな成長を支援することを目的として、岐阜県家庭教育支援条例を制定し、家庭教育支援施策に取り組んでいます。

園や学校で、家庭教育学級を企画運営していただいておりますが、子育てについて学びたいけれど、仕事の関係で参加が難しい保護者もみえると思います。

そこで、企業の従業員研修の1つとして、家庭教育・子育てについて学べる機会を設けていただくための支援、講師派遣を行っています。お勤めの事業主様等にご紹介いただければ、説明に伺います。

気軽にご連絡ください。

関ヶ原製作所

日時：令和7年3月27日(木)
16:00～17:00
対象：従業員(14名)
テーマ：子どものかかわりの糸を結ぶ
講師：西濃県事務所

家庭教育推進専門職

酒井 俊 亘

【主催者様の声】

普段なかなか(園や学校の家庭教育学級に)参加できないため、会社で開催してもらって良かったという声と共に、さっそく学んだ声かけを実践している社員もいて「親子の笑顔が増えた」との声をいただきました。

【アンケート結果】

本日の研修テーマと内容についてどう思いますか。			
たいへん良い	おおむね良い	あまり良くない	良くない
86%	14%	0%	0%
企業で家庭教育についての研修を実施することについてどう思いますか。			
必要である	どちらかというと必要である	あまり必要はない	必要ない
50%	50%	0%	0%

【参加者の感想】

- ・ 子どもと過ごす時間は、思っているより短いので、大切にしたいと思います。言葉がけなど具体的に知ることができて良かったです。
- ・ 言葉のかけ方や言葉のチョイスで受け取る方のとらえ方が変わることすごく感じました。子どもに対してだけでなく、肯定的な言葉で声をかけられるように普段から気を付けたいです。
- ・ 子どもが幼児期ということもあり、これからどう成長していくのか、どう接するとよいのかイメージを持つことができました。
- ・ 子育てがテーマでしたが、社会人としても必要な要素(キーワード)がたくさんあり、勉強になりました。子育て世代の社員をサポートできる活動に活かしたいです。
- ・ 会社のコミュニケーション方法としても活用できると思いました。

